

事業所名: グループホームこすも

作成日: 令和元年 12月 1日

## 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】 注)「項目番号」の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。					
優先順位	項目番号	次のステップに向けて取り組みたい内容	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	28	今後はアセスメントにOTの評価を追加し、日常生活動作の有する能力と目標等を細分化する予定である。「馴染みの場所」等のアセスメントも増やし、外出支援に繋げたり、畑の野菜作りの機会を増やす。	ADL・IADLを把握することで、本人が今以上に家事等の作業を主体的に取り組める環境を作る。また、興味・関心を引き出し「趣味」の実践を増やす等の本人にとって意味のある作業を実践する。	ADL・IADL・興味関心についてのアセスメントシートを作成する。(センター方式活用) ご利用者との計画・実践・評価を、作業療法士を中心に計画作成者、スタッフ、ご家族で取り組む。	4 ヶ月
2	38	言葉遣いの改善も見られており、声が大きくなったり、ご利用者への語尾が強くなる時は注意している。今後も職員個々に自分の言動を振り返り、不適切な言動になっていないか等を職員間で確認していく。	接遇・マナーで「不適切ケア」を無くす！ 自身の言動を振り返るだけでなく、スタッフ間で注意し合える環境を作ることで、ご利用者が安心できる生活の実現に繋げる。	定期的開催している接遇・マナーの社内研修を活かし、接遇委員会を設置。『ご利用者にとって』を大切にスタッフ間で意見し合える環境を作る。	4 ヶ月
3	37	今後は運営推進会議の委員も一緒に避難訓練を行いたいと考えており、備蓄の準備も行う予定である。夜間の避難方法(場所)に不安を感じており、今後も夜の時間を想定した避難のシミュレーションを行う。	地域のみなさんが防災訓練に参加して頂くことで、避難誘導の意識が高まり、有事の際に迅速な行動がとれるようになる。	防火管理者の選任を変更。 新しい防災計画を策定し、訓練実施の4ヶ月前から運営推進会議で協議検討内容の議題に挙げる。	12 ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月